



令和 6 年 3 月 1 日現在
世帯数 2,894 世帯
男 3,223 人
女 3,373 人
総人口 6,596 人

堀米公民館 フェスティバル

1月28日(日)、堀米公民館にて「ピンポンフェスティバル」が開催されました。過去には「卓球大会」として開催してきましたが、4年ぶりに開催された本大会は、卓球未経験者でも気軽に参加できるピンポンフェスティバルにリニューアル。1歳の幼児から高齢者まで老若男女関わらない20数名が5チームに分かれてピンポン玉やラケットを使った5つの競技に取り組みました。

ピンポンカップイン、ピンポン玉リレー、ピンポン玉リフトイング、ラリーゲーム、的当てゲーム、どのゲームもとても簡単、すぐにコツをつかんで高得点を出し、また、珍プレー好プレーに他チームも大盛り上がり、あっという間に予定

2月4日(日)には南栗公民館で卓球大会が4年ぶりに開催されました。各小路選出の皆さんが楽しみながらプレーしていました。



福寿草

した時間を競技を終えました。競技後には、卓球台を使い希望者による体験合も堀米町会の体育館と卓球部が気軽に卓球に慣れ親しんでもらいたいと考えた新しいプログラムは成功に終わりました。ぜひ、皆さんも気軽に参加してみてください。次年度も参加してみたくありませんよ。



的あてゲーム 太鼓に向かってサーブ!



ピンポンカップイン うまくカップに入れられるかな!?

ボッチャを体験してみませんか

ボッチャという競技をご存知ですか? 40年前からパラリンピックに正式採用されているので、テレビ画面越しに楽しめた人も少なくないかもしれません。

この競技は、ジャックボールと呼ばれる白い球を目標球にして、赤・青それぞれ6球ずつのボールをいかに近付けるかを競うスポーツです。カーリングに似て、自分が優位に立てるよう位置取りをしていきますが、目標の白い球を弾いて移動させることができるため、カーリングとは一味違う戦略、魅力がある競技です。島立で取り組み始めたのは7、8年前からで、コロナ禍を経ながら草の根運動を展開中です。

今回、島立地区スポーツ協会主催、島立公民館共催のボッチャ大会が2月4日(日)にあり、14名の参加者がありました。参加者はスポーツ協会役員が大半でしたが、北栗チームとの試合を来週に控えているプレ試合・練習を行っていました。

団体戦は1チーム5名で参加し、うち3名が試合に出ます。1試合4セットの対戦が15分ほど行えるので、疲れも仲間と交代しやすく、老若男女が気軽に楽しめます。まず的になる白球をフィー

ルドの何処に投げられるかから、駆け引きが始まります。手首を使って球の勢いに緩急をつけたり、他の球に当てることで勢いを変えたりしながら、先を読んだ駆け引きをチームで力を合わせて行います。私も参加させていただきましたが、球には砂利や樹脂の粒がぎっしり入って一定の重さがあるため、床に着いてからも勢い付いて存外転がります。逆にドスッと着地して転がらないこともあり、微妙な加減で跳ねたり曲がったりと思いつ通りにいかないことも楽しみの1つです。

不利にあるチームが、より近くに球を寄せるまで連続して投げますが、後半になるほど球が密集して、狙いが難しくなり、ぶつかり合ったり動くので、戦況が変わるのも盛り上がるポイントです。さらに、ファインプレーから接戦が崩れる場面はボッチャの醍醐味といえます。

勝敗はカーリングとも共通したミリ単位の判定になるので、専用のコンパスや巻き尺で計測を行います。皆で集まって測定を見守る際も和やかな雰囲気、終始和気藹々、笑いに溢れた時間を過ごすことができました。

代表の八島さんは、参加者が少ないため、まだ大会には至らず、役員の方が体験しながら練習している状況ですが、広く島立の皆さんに知ってもらって、町会対抗の交流会を行えるようにしたいとお話しいただきました。練習終わりに、ボッチャとよく似た競技、屋内ペタンクの球との違いをレクチャーする場面もあり、競技の深さ、楽しさを広げる時間でもありました。

本日紹介した競技道具は全体的に、島立公民館にあり、町会への貸し出しができません。島立公民館まで気軽に参加や問い合わせをお願いします。



セツブンソウ



セツブンソウ



3月3日にはモルック交流大会も開催され、約60人が参加しました!



島内・島立ふれ愛コンサート



2月23日(金・祝)、人権を考える住民のつどい「島内・島立ふれ愛コンサート」が松本市音楽文化ホールで開催されました。

開演前には高綱中学校生徒徒会による令和6年能登半島地震災害義援金の募金活動も行われました。
コンサートは、まず松本市を拠点に障がいのある若者たちが音楽活動を通じて社会的自立を目指している「楽団ケ・セラ」の演奏から始まり、島立小学校ブラスバンド部、高綱中学校吹奏楽部、松島中学校吹奏楽部による演奏がありました。鳴りやまない拍手の後、アンコールとして3校合同の演奏もあり、大いに盛り上がりました。
心のこもった音楽を通じて会場全体がひとつになった素敵な時間でした。

三の宮公民館 フラワーアレンジメント

2月10日(土)、三の宮公民館でフラワーアレンジメント講習会が開催されました。

小学生もお母さんと一緒に参加し、楽しく作成した後、それぞれ個性あふれる作品を並べて鑑賞しました。公民館の外は雪景色でしたが、館内はひと足早く春の気配を感じる講習会となりました。



中村公民館 やしよつまづくりと百歳体操

2月11日(日)、中村公民館で、長野県に伝わる郷土食「やしよつま」を親子で作る催しがありました。同日に「百歳体操」も行われ、参加者は椅子を使いながら体を動かしました。どちらも終了した後は、親子と高齢者とのお茶飲み会が開かれ、世代間交流を図ることができました。



大庭町会 「三仏神祭」



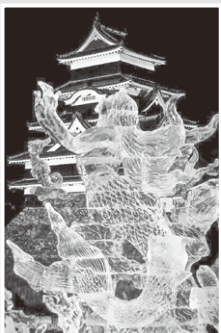
座禅草

2月14日(水)、大庭公民館で三仏神(お太子様・観音様・権現様)を奉る伝統行事がありました。参加者は車座になって大数珠を回し、家内安全や無病息災を祈りました。



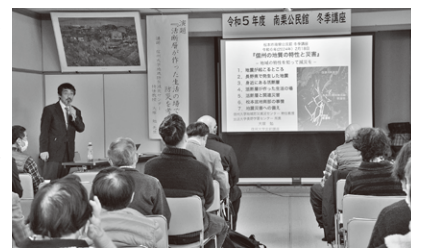
南栗公民館 冬季講座

2月18日(日)、南栗公民館で冬季講座が開催され、講師の信州大学地域防災減災センター特任教授の大塚勉氏より『活断層が作った



松本城 氷彫フェスティバル

生活の場で防災を考える」と題して講演をいただきました。9月には講演が決まっていたようですが1月1日の能登半島地震があり、防災意識が高まる中での講座となりました。



松本周辺では牛伏寺断層、松本東部断層と多くの断層がありX字型に分布しているのどいつ地震が来てもおかしくないところだそうです。近くでは中山、赤城山は平地で曲がった活断層が水平方向にずれ動いた際に山ができたそうです。
地震は予知が難しいため日頃からの備えと地震後の対応を考慮しておくことが大切です。是非、この機会に飲料水や食糧の使い回し備蓄を始めてはいかがでしょうか。
生活の場で防災を考える」と題して講演をいただきました。9月には講演が決まっていたようですが1月1日の能登半島地震があり、防災意識が高まる中での講座となりました。

福祉と健康を語る集い

2月29日(木)、島立公民館を会場に「福祉と健康を語る集い」が開催されました。今年度は「高齢者の移動手段がテーマとなり、まず地区担当職員から島立地区の健康状況や介護保険の認定状況について説明があり、島立の傾向を確認しました。その後、笹賀地区福祉ひろばのタクシー送迎、島内地区福祉ひろばの送迎ボランティアについて事例発表をいただき、参加者はいくつかのグループに分かれて意見交換を行いました。参加者からは「送迎について何かできたら良いとは思いますが、ボランティア、タクシーなどそれぞれに課題がみえる」「小さなことから少しずつでも地域で考え、形にしていけたら良いのでは」といった意見も出され、島立地区の送迎サービスについて皆で考える機会となりました。



常念岳に沈むウルフムーン